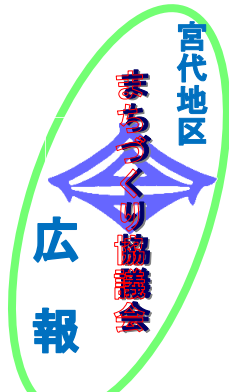


宮代地区まち協通信

第107号

発行日
令和 4年 11月 1日

2022年



南宮大社の“真”

蓼科高原 蓼科湖

撮影：福本莞さん

長野県茅野市北山

蓼科湖は、ハケ岳の冷たい水を日に当て、農業用の温水のため池として誕生した人工湖です。標高1,250mにある、周囲をカラマツやシラカバの林に囲まれ、蓼科山や横岳の山容がくっきり映し出され、四季の山と自然に囲まれた静かな高原の湖です。



「宮代子ども会育成会」 会長 町田 富美子



私達「宮代地区子ども会育成会」は、宮代地区に二十ある「単位子ども会」と垂井町と

です。この活動では、宮代花園、山田川花園など、道路沿いに設けられた花壇の花植えや、さつまいもの苗植え、収穫体験などを行っています。四つ目は、「三団体長会」の活動です。この活動では「子ども会育成会」と「こども園保護者会」、「小学校PTA」の三団体が協働で、地区の資源回収活動を行い、その収益の一部を単位子ども会の活動費として分配しています。「子ども会育成会」の活動は、宮代地区はもちろん、垂井町の多くの方々にご支援を頂きながら、子ども達の健全な育成を目標としています。

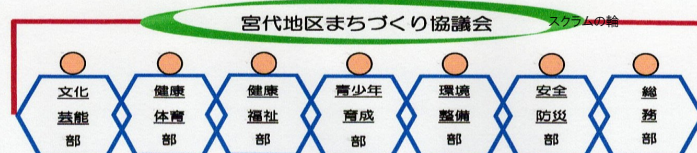
のパイプ役を担っており、垂井町子ども会育成会連絡協議会(通称「町子連」)の構成団体の一つになります。育成会の活動は大きく四つに分類されます。一つ目は、「町子連」の活動です。この活動では「遊びフェスタ」など垂井町が主催する行事に参加し、各校区の子どもの交流を図っています。二つ目は、「宮代まちづくり協議会」の活動です。この活動では、協議会が主催する夏祭りや文化祭、南宮山登山等に参加したり、宮代地区の伝統文化に触れる体験ができるような機会を作ったりしています。三つ目は、「農地水保全活動組合」の活動



花壇の花植え活動風景

目次

- 宮代子ども会育成会
- 11月行事予定
- 延びる「健康寿命」
- 活動報告
＜9月・10月の活動＞
- 文芸の広場
中山社 北野俳句会
- 《南宮大社宝物殿のお宝》について



行事予定



※各種教室などには別途チラシや案内書、又は記載されていないサークル活動や団体活動等があります。詳細はまちづくりセンターまで問い合わせ下さい。

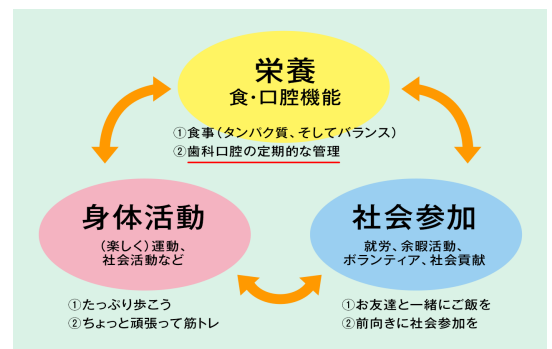
	事業名	日時	曜日	場所	備考
1	シニアはつらつ教室	7日 13:00~15:10	月	まちセン 大会議室	会員募集中
2	「運動機能低下予防」ポールウォーキング教室	9日 10:00~11:30	水	宮代地内	
3	水墨画教室	4日・18日 19:00~21:00	金	まちセン 大会議室	会員募集中
4	絵手紙教室	13日・27日 13:00~15:00	日	まちセン 大会議室	会員募集中
5	宮代こども園「お花教室」	18日 9:30~11:30	金	子ども園	
6	中山社「北野句会」	18日 9:30~11:00	金	まちセン 大会議室	会員募集中
7	伝統文化「お花教室」	19日 9:30~11:30	土	まちセン 大会議室	小学生①部 9:30~ ②部 10:30~
8	第63回宮代文化祭	20日~23日 9:00~16:00	日~水	まちセン全館	

延びる「健康寿命」

病気などによる制限がなく、日常生活が送れる期間を示す「健康寿命」が延びています。

健康で長生きする秘訣の一つに、「社会参加」が上げられますが、コロナ禍で機会をどう確保するかが鍵となります。世界の保険統計によりますと、2019年時点の日本の健康寿命は、74、7歳で世界一位でした。医療の進歩や健康意識の高まりなどが背景にあると思います。中でも北陸を含む中部の水準は高く、ここ十年を見ても中部の各県は男女とも上位に位置します。ある先生によりますと、その原因としてこのエリアの「豊かさ」が考えられるとのこと。自然環境も良く、農林水産業に適し、身近に良質な食材の供給地があり、製造業などが盛んで働く場所が多い。また、経済的にも比較的ゆとりのある人が多いことも理由に挙げています。

上位常連の静岡県が力を入れているのが社会参加です。



一定の栄養摂取と運動に加え、地域で趣味の会などに参加している高齢者が多いというデータがあります。

このように見てきますと、多様な活動をしている人ほど生活に張りがでて、身体的にも、精神的にもプラスになると考えられます。

宮代まちづくりセンターでは、色々な教室やサロンなど活動して頂ける機会を計画し、皆さんの「通いの場」として一人でも多くの方にご利用いただけるような環境を作って行こうと思っています。ご提案があればお聞かせ下さい。



活動報告



9/20~10/19



晴天に恵まれた、10月1日<土曜授業>の「歴史講座」が開催され、小学6年生が「壬申の乱」と「宮代」の関連史跡を訪ねました。講師を務めた、「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」のメンバーに、質問したり、メモを取ったりして、往時に思いを馳せ、宮代地区内を沢山歩きました。



10月1日 今年度3回目の草刈りボランティアの方々と、小学校PTA全員で小学校の校庭の草刈りが行われました。今年は雨も多く例年と比べても草の伸びるのも早く、参加した人も汗だくで悪戦苦闘しておられました。終了後はグラウンドも大変綺麗になりました。

10月7日 千之子ども教室の「陶芸教室」が開催されました。小学4年生が、小牧忠一先生の指導と、3人の講師にお手伝い頂き、お皿や湯飲み茶碗を作りました。この後窯入れして貰い完成します。自分で作った作品を早く見たいと期待をふくらませていました。



10月13日 「さつまいも収穫」の体験教室が開催され5月に植えた苗から大きく育ったさつまいもを、小学1・2年生が、農地水保全活動組合のメンバーと、まち協サポ-タ-の方々のご協力を得て、収穫しました。自分達で掘ったさつまいもを持ち帰り、自宅で家族と一緒に食べて貰います。

10月8日 伝統文化「お花教室」

10月13日 音(おと)楽(らく)倶楽部

10月16日 ふれあいスポーツ説明会



* 水晶の 数珠ひんやりと 秋彼岸
川瀬 慶泉

* 遠伊吹 稲穂に風も 日も豊か
三和 光子

* コスモスと 芙蓉の白も 重ね映ゆ
清水 ルリ

* 声高く 選手宣誓 運動会
中嶋 結映



南宮大社宝物殿のお宝について 其の二十

写真は許可を頂き撮影しました

「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」 藤塚 久勝

南宮大社の刀剣類

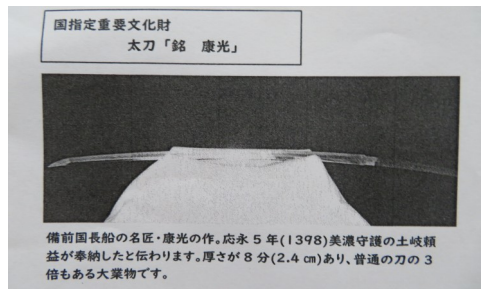
美濃国は古くから刀鍛冶が営まれ、特に赤坂や関鍛冶は著名である。
鉾山や鉄の神とされる金山彦命を御祭神とする南宮大社には、その神威を仰いで全国から数十振の刀剣が奉納されており、国・県・町指定の重要文化財のものも多く所蔵されている。文化財には指定されていないが、幻の名刀といわれ、青墓の刀匠で美濃で一番古い「外藤」が、ごく最近、西濃地方のさる大家から奉納されました。南宮大社の刀剣類の中で最も古いものは、「圭頭太刀」で、6世紀から7世紀の大和時代のものといわれている。儀式などに使われる儀仗用の太刀でその装飾も非常に美しい。
11月3日（木）の文化の日には南宮大社の宝物殿にて年に一度所蔵の刀剣類が一般公開されます。是非足を運んで、その美しさに触れてみては如何ですか。

国指定重要文化財 太刀「銘 三条」と柄



初代三条宗近の刀は平安時代の県下随一の名刀です。

国指定重要文化財 太刀「銘 康光」



備前国長船の名匠・康光の作。応永5年(1398)美濃守護の土岐頼益が奉納したと伝われます。厚さが8分(2.4cm)あり、普通の刀の3倍もある大業物です。

<編集後記> 11月23日 勤労感謝の日

1948年(昭和23年)に制定され、

「勤労を尊び、生産を祝して、国民がお互いに感謝しあう日」として祝日に決められました。家族で、職場で勤労に感謝を伝えることで、家族関係や、職場での人間も良好になると思います。

また、勤労感謝の日に催される行事に「新嘗祭」「どぶろく祭」があります。一年の最後の祝日を有意義に過ごしたいものです。

11月・12月の休館日

11月1日(火)・ 8日(火)
15日(火)・22日(火)・29日(火)
12月6日(火)・13日(火)
20日(火)・27日(火)
30日(金)・31日(土)

編集・発行

〒503-2124
不破郡垂井町宮代664番地4 宮代地区まちづくりセンター
TEL・FAX: 0584-22-1010



宮代地区まちづくり協議会 西川 一明
E-mail: miyashirokou@town.tarui.lg.jp



まちづくりセンターから西の方角の風景

紙面充実へ皆さまのご意見をお寄せ下さい